



Disaster Community-Care Assistance Team

DC-CAT

ディーシーキャット

DC-CAT代表

**コミュニティヘルス研究機構 理事長・機構長
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室**

山岸暁美

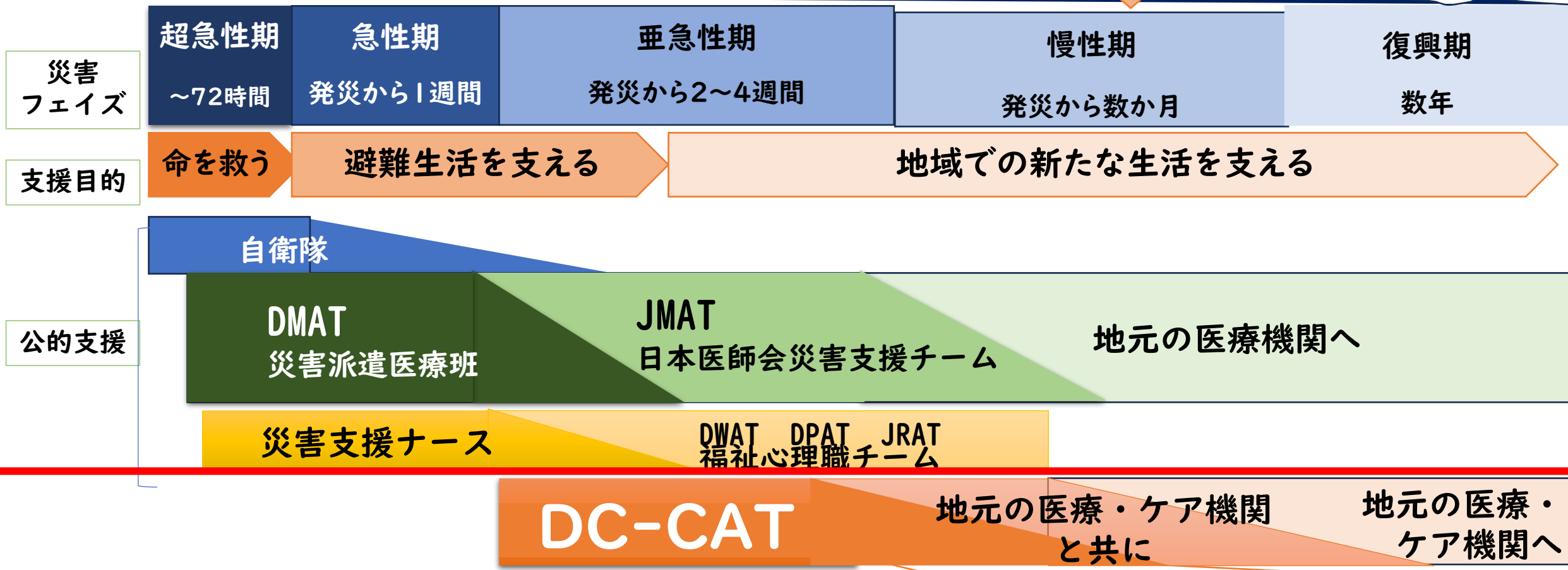
(医療福祉学博士・在宅看護専門看護師・社会福祉士・認定心理士)

災害フェイズとヘルスケア領域の支援団体

災害直接死

災害関連死

災害直接死の4倍



公的支援を補完しながら増大するケアニーズに対応。助かったいのちの、その先の「生きる」を支え、災害関連死を阻止し、地域の医療やケア機関の復旧プロセスを支援する

🍀 一人ひとりの少しずつを集結し大きな力に 🍀

DC-CATは
約500名の現役の看護・ケア職の専門家集団です。

災害亜急性期～慢性期を中心に、
被災地の県庁・基礎自治体や職能団体、
各所の保健医療福祉調整本部、NPO等と連携しながら、
フェイズに応じた支援提供を行います。

助かったいのちのその先の”生きる”を支え、
災害関連死の阻止に努めます。

◆◆Board Member◆◆

◆代表

山岸 暁美 (慶應義塾大学医学部公衆衛生学/
一社)コミュニティヘルス研究機構)



◆Executive Director

榊原 千秋 (合同会社プラスぽぽぽ代表)

加藤 忠相 (株式会社あおいけあ)

古屋 聡 (山梨市立牧丘病院)

佐々木 淳 (医療法人社団 悠翔会)

市橋 亮一 (医療法人かがやき理事長)



◆Secretary General

貝原 敏江

◆◆DC-CAT活動内容◆◆

1. 避難所等におけるケア提供

災害亜急性期～慢性期に、避難所等で増大するケアニーズに対応するため、既定の研修を修了した看護・ケア職が被災地に出向き、直接支援にあたります。助かったいのちのその先の”生きる”を支え、災害関連死の阻止に努めます。

2. 直接支援の現場コーディネート・他団体との相互理解の上での協働による支援スキームの構築

被災地の県庁・基礎自治体や職能団体、各所の保健医療福祉調整本部、NPO等と連携・協働しながら、フェーズに応じた、また被災地および住民の方々のニーズベースの支援のコーディネーションを行います。

3. 自治体や地元職能団体・医療福祉機関等との協働による地域共生社会・地域包括ケアシステムの復旧

自治体や地元職能団体等と共に、コミュニティ復旧を目指します。

4. 被災地におけるケア提供に関するQuality Managementのための教育・研修・フィードバックの実施

アカデミア機関との連携により、提供される支援の質の担保、評価、改善を行っていきます。

DC-CAT

被災フェイズ・被災地のニーズの変遷に応じ、形を変えて支援を継続

1月

2月

3月

4月～

5月～

6月～

避難所支援

介護施設・障害者施設の支援
福祉避難所の支援

延べ2000人以上の
ケア専門職が現地支援に

健康相談ダイヤル
新しい医療ケア提供体制構築の支援

厚労省や石川県庁、
各自治体と連携しながらの
支援提供

DC
CATの
活動

DC-CATから皆様へのお願い

現地では、皆さんの支援が必要な状況が続いています。
引き続き、お力添えを何卒よろしくお願い申し上げます！

現地支援

派遣申請・お問い合わせ先

dccatbackoffice@gmail.com（事務局）

ご寄付

住信SBIネット銀行
法人第一支店(106)
普通 1693617

シャ)コミュニティヘルスケンキュウキコウ
一般社団法人コミュニティヘルス研究機構